

EAタイプ 非スチレン系エポキシアクリレート樹脂

[埋込長 8d の場合]

使用ボルト 異形棒鋼	穿孔径	穿孔深さ	単位：mm		単位：kN		単位：cm ³			単位：本		
			許容引張 荷重(長期)	許容引張 荷重(短期)	必要樹脂量		カートリッジ 1 本当たりの 施工可能本数					
					EA-350	EA-500(S)	EA-350	EA-500	EA-500S			
M8・W5/16	9.0	70	5.9	8.9	2.3	2.3	130	194	52			
D6					2.7	2.7	111	164	44			
⑤ M10・W3/8	12.0	80	9.0	13.5	5.3	5.3	56	83	22			
D10					4.1	4.0	75	109	30			
⑤ M12	14.0	100	13.5	20.3	8.4	8.3	36	52	14			
W1/2	14.5				9.0	8.9	33	49	13			
D13	16.0				15.3	15.2	19	28	7			
⑤ M16・W5/8	18.0	130	23.5	35.2	18.1	18.0	16	24	6			
D16	20.0				32.8	32.7	9	13	3			
⑤ M20・W3/4	23.0	160	36.1	54.2	31.9	31.8	7	10	2			
D19	24.0				40.6	40.5				6	8	
M22	25.0	180	44.7	67.1	49.4	49.3	5	7	1			
W7/8	26.0				60.0	59.8				4	6	
D22	28.0				67.9	67.7						
⑤ M24	28.0	190	51.5	77.3								
W1	30.0											
D25	32.0											

▲ 保管上の注意点

- 使用途中の EA-350 を保管する際は、ミキシングノズルを装着し、フィルムパックをホルダーに入れたまま冷暗所で保管して、4 週間以内に使用してください。
EA-500・EA-500S・EA-500W は、ミキシングノズルを外してカートリッジの吐出口に付着している樹脂を拭き取ってください。最後にキャップを付け、冷暗所で保管して使用期限以内に使用してください。
- 再使用する際は、吐出口が硬化していないことを確認してから新しいミキシングノズルと交換してください。万が一、樹脂が硬化している場合は硬化した樹脂を取り除いてからミキシングノズルを装着してください。

EXタイプ ビスフェノールA/F型エポキシ樹脂

[埋込長 10d の場合]

使用ボルト 異形棒鋼	穿孔径	穿孔深さ	単位：mm		単位：kN		単位：cm ³		単位：本	
			許容引張荷重 (長期)	許容引張荷重 (短期)	必要樹脂量	カートリッジ 1 本当たりの 施工可能本数				
						EX-350	EX-400L			
M12	14.0	130	24.8	37.3	10.9	27	78			
W1/2	14.5									
D13	16.0									
M16・W5/8	18.0	160	37.7	56.5	18.8	16	45			
D16	20.0									
M20・W3/4	23.0	190	51.0	76.5	38.9	7	21			
D19	24.0									
M22	25.0	220	61.7	92.5	49.6	6	17			
W7/8	26.0									
D22	28.0									
M24	28.0	250	73.4	110.1	78.9	3	10			
W1	30.0									
D25	32.0									
M30	35.0	320	104.6	156.9	154.1	1	5			
W1・1/4	37.0									
D32	40.0									
M36	42.0	380	135.7	203.6	259.3	3	2			
W1・1/2	44.0									
D38	48.0									
M42	52.0	410	152.8	229.2	493.9	カートリッジ 2本必要	1			
W1・3/4	54.0									
D41	55.0									
M48	60.0	510	217.1	325.6	829.6	カートリッジ 2本必要	1			
W2	62.0									
D51	65.0									

⚠ 保管上の注意点

- 使用中の EX-350 を保管する際は、ミキシングノズルを装着し、フィルムパックをホルダーに入れたまま冷暗所で保管して、4 週間以内に使用してください。
EX-400L は、ミキシングノズルを外してカートリッジの吐出口に付着している樹脂を拭き取ってください。最後にキャップを付け、冷暗所で保管して使用期限以内に使用してください。
- 再使用する際は、吐出口が硬化していないことを確認してから新しいミキシングノズルと交換してください。万が一、樹脂が硬化している場合は硬化した樹脂を取り除いてからミキシングノズルを装着してください。